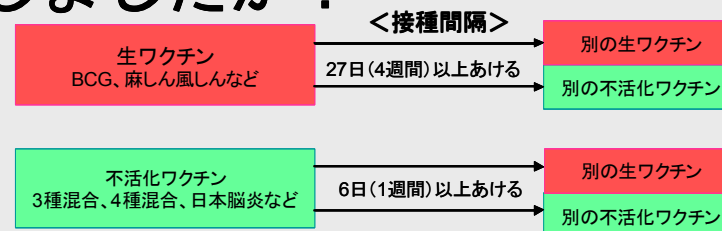


# 予防接種で子どもたちを疾病から守るために

## 接種 間隔

### 母子健康手帳で接種間隔は確認しましたか？

- ・生ワクチン接種後の間隔は27日以上空いていますか？
- ・不活化ワクチン接種後の間隔は6日以上空いていますか？
- ・日本脳炎、三種混合(DPT)等同じワクチンを複数回接種する場合の間隔は間違っていないですか？



## 接種 回数

### 母子健康手帳で接種歴は確認しましたか？

- ・既に接種済みのワクチンではありませんか？
- ・母子健康手帳に、きちんと記録を残しましたか？

ちゃんと  
確認するモン！

## 接種量

### 接種量は間違っていないですか？

- ・予約日と接種日で年齢は変わっていませんか？  
※日本脳炎のように、年齢によって接種量が異なるワクチンがあります。

## 種類

### 今日接種するワクチンは、 そのワクチンで間違いありませんか？

- ・有効期限は切れていませんか？
- ・他の子どものワクチンと取り違えていませんか？



© 2010熊本県くまモン

※このような時は、特に間違いが発生しやすいのでいつも以上に注意しましょう！

●兄弟で同日接種 ●同日に数種類の予防接種の実施 ●慣れないスタッフがいる



# 予防接種で子どもたちを疾病から守るために

## 市町村

- ・予診票の発行・配布
- ・予防接種の実施



## 家庭

- ・母子手帳の確認
- ・接種スケジュールの作成



## 病院

- ・健康状態の確認
- ・予防接種の実施



予防接種に関わるすべての人が、“確認”することが大切です。

◆予診票を再発行する時は、接種歴を確認し、予診票に「再発行」と明記しましょう！

◆任意接種も含め、それぞれのワクチンについての認識を深めましょう。

<発生しやすい間違い>

- ・予診票の再発行時の接種歴確認不足  
→保護者から予診票再発行の申し出があり、接種歴を十分確認せず再発行してしまった。
- ・新しく承認されたワクチンについての確認不足。  
(生ワクチン・不活化ワクチン)  
→前回の接種後、必要な間隔をあげずに次のワクチンを接種してしまった。

◆母子健康手帳には接種歴や接種間隔、対象者(年齢)が記載されています。

◆医療機関に予約する前、接種する前に必ず接種歴や年齢等を確認しましょう。

<発生しやすい間違い>

- ・母子健康手帳の接種歴の確認不足  
→接種済みのワクチンを再接種してしまった。
- ・対象年齢の確認不足  
→対象年齢でない子どもにワクチンを接種してしまった。

◆接種間隔の起算日(1日目)は接種翌日です。

◆母子健康手帳に確実に記録を残しましょう。

◆母子健康手帳、予診票で接種歴・ワクチンの種類の確認を徹底しましょう。

<発生しやすい間違い>

- ・接種間隔の数え方の間違い  
→前回の接種後、必要な間隔を空けずに次のワクチンを接種してしまった。
- ・母子健康手帳の接種歴の確認不足  
→接種済みのワクチンを再接種してしまった。